

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	パナソニック株式会社					
代表者名	氏名	津賀 一宏	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	大阪府門真市大字門真1006番地					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	29 電気機械器具製造業				
主たる事業の概要	電子部品製造業 ・カーオーディオ・カーナビゲーションの製造 ・車載電装制御ユニットの製造					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	3279	3199	3502	3586	3395
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO <sub>2</sub>	6965	6797	7392	7576	7196
その他ガス排出量合計	t-CO <sub>2</sub>	11		2	11	23
自動車の台数	台	36		38	56	24
自動車からの排気ガス合計	t-CO <sub>2</sub>	113				

### 2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	平成 28 年度
------	----------

計画期間	平成 29 年度～ 平成 31 年度
------	--------------------

報告対象年度	平成 31 年度
--------	----------

### 3 計画書（報告書）の公表方法等

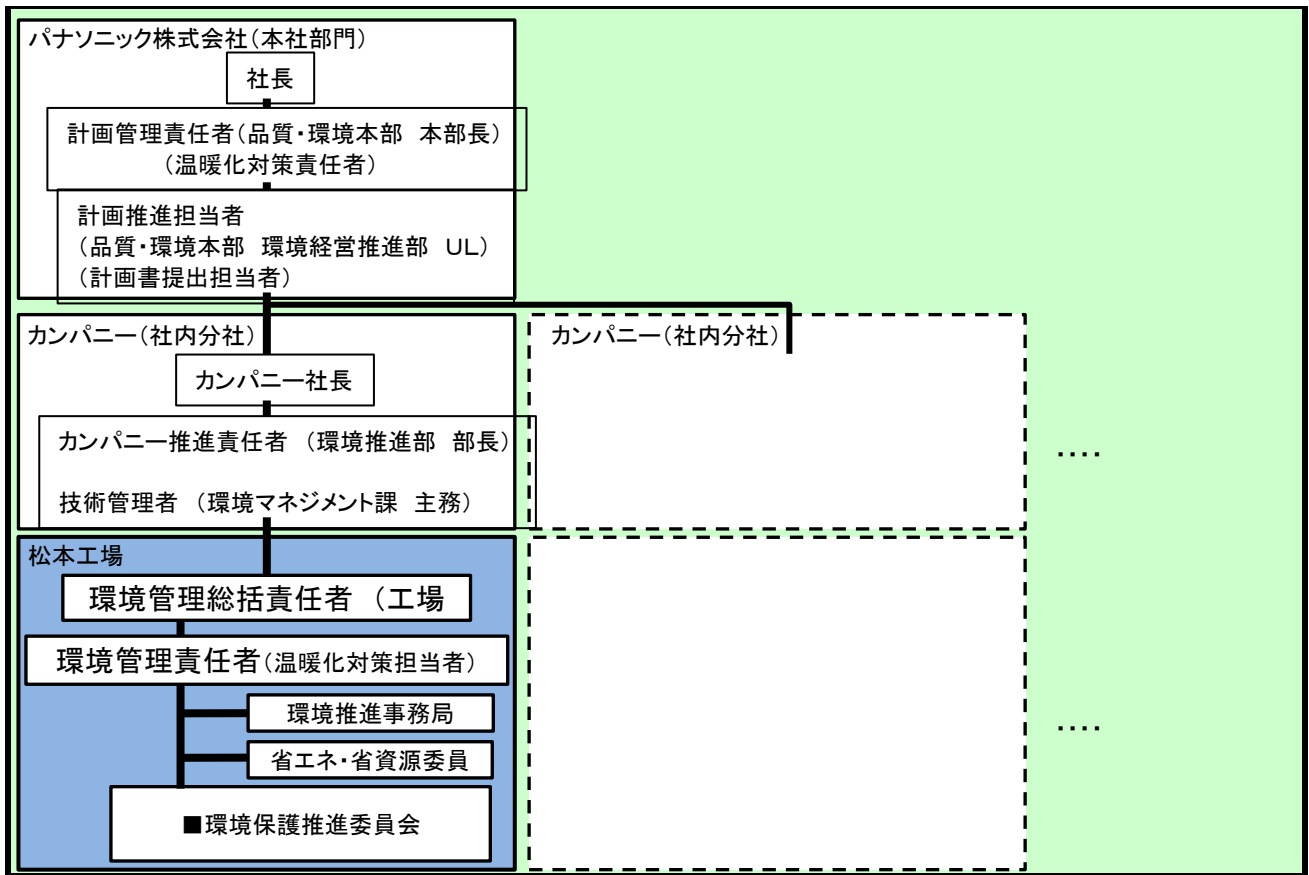
<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ	パナソニックグループ全体としてのCSR・環境活動を、下記ホームページにて公開 <a href="http://panasonic.net/sustainability/jp/">http://panasonic.net/sustainability/jp/</a>
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号  
(総括票)

#### 4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

■ IS014001マネジメントシステムに基づく目標設定と進捗管理

#### 5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



#### 5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

■ 環境保護推進委員会 (1回/3ヶ月)

様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	6,965	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
28年度	調整後排出量	7,473	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	6,797	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
31年度	目標削減率	2.41	%	目標削減率	0.70	%		0.7
目標設定に関する説明	<p>所定の算定票(Excel)を用いて寄与度の合計を算出するにあたり、松本工場の原単位分母を以下の通り修正した。</p> <p>【H29計画策定時の変更点】 生産金額算出の見直し(松本工場のエネルギー使用実態に対し適切な原単位管理とするため) ～H28:松本工場を含む事業場全体の生産金額 H29～:松本工場のみを生産金額</p> <p>【排出量削減の指針】 ・H29～生産金額の減少を見込むが、原単位を指標とした省エネ体質改善に取り組む。</p>							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	7,392	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	9,990	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
29年度	削減率	(6.14)	%	削減率		%		-0.8
排出量等の増減理由	松本工場の事業拡大および内製化拡大による排出量増大および生産高原単位の悪化。							
第二年度	排出量	7,576	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	10,784	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
30年度	削減率	(8.78)	%	削減率		%		-6.7
排出量等の増減理由	<p>照明のLED化や継続的省エネ活動に取り組むものの、以下事由によりエネルギー使用量増大に伴い排出量増大。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産増加による、年度後半の夜間稼働増加</li> <li>・猛暑により、夏季の空調電力が増加</li> </ul>							
第三年度	排出量	7,196	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	10,156	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
31年度	削減率	(3.32)	%	削減率		%		-8.4
目標の達成状況及び排出量の増減理由	<p>照明・一般電力は省エネ改善が進んだが、生産電力の使用効率悪化により、全体的には原単位が悪化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内製化部品の生産拡大に伴い生産原単位悪化</li> <li>・集中空調について、部署稼働時間が同期せず結果的に集中空調の稼働時間が延びた</li> </ul>							

様式1号  
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	11	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	2	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率	81.81	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	11	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率	0.00	%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量	23	t-CO <sub>2</sub>			単位		
年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた実績削減率 <sup>※</sup>
年度	削減率	(109.10)	%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	113	t-CO <sub>2</sub>			
年度						
目標年度	目標排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
年度						
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>	削減率	100	%
年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		状況	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	380752 LED照明の導入 (一部)	平成29～ 31年度	12.0	平成29 ～30年	67.3
2	エネ起	130105 空調設備の運用管理	平成29～ 31年度	6.8	平成29	21.8
3	エネ起	その他 A重油のガス化	平成 31年度	55.0		
4	エネ起	170302 太陽光発電装置増設	平成 31年度	2.0		
5	エネ起	310200 冷温水発生機運転管理			平成29	98.0
6						
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光発電装置 ※計画年度に既設20kW+新設20kW	kw	40	50	40	40	40

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	-508		-2598	-3208	-2960
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	6,761	1	7,202	1	7,405	1	7,030
1,500k1以上 3,000k1未満	0	0	0	0	0	0	0	0
1,500k1未満	3	204	3	190	3	171	3	166
合計	4	6,965	4	7,392	4	7,576	4	7,196

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	11	1.5	11.2	23
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
NF <sub>3</sub>	0	0	0	0
合計	11	1.5	11.2	23

1.3 次世代車使用台数、導入計画及び実績 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	0
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	3	6	20	7
合計	3	6	20	7
自動車総数	36	38	56	24
次世代車導入割合	8.3	15.8	35.7	29.2

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援状況

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策状況

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	なし
公共交通機関の利用促進	県外出張時は公共交通機関利用を優先
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1	環境ISO14001	1997年
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	(財)日本生態系協会認証「JHEP認証 評価ランク A認証」取得 2015年 社員への環境教育実施(6月環境月間)、 ポスター掲示によるクールビズの呼びかけ実施(社員および来客) 夏期/冬期ピークカット社内キャンペーン、及び夏期生産平準化調整
第一年度実績	社員への環境教育実施(6月環境月間)、 ポスター掲示によるクールビズの呼びかけ実施(社員および来客)、 夏期/冬期ピークカット社内キャンペーン、及び夏期生産平準化調整、 廃プラの一部をサーマルリサイクルから材料リサイクルに転換、更新施設にはトップランナー製品を使用
第二年度実績	天井照明LED化により、照明用電力は対前年比▲8% 夏期/冬期ピークカット社内キャンペーン、デマンド速報、により社内衆知の実施 廃棄物削減として、工場内不要物をグループ内にリユース展開 植樹祭(植林)に毎年会社として参加
第三年度実績	高天井照明のLED化、気候に合わせたパッケージエアコンの出力制御を見直し、ウレタン梱包材の一部を産廃から再資源化処理に転換、厨房機器を更新しエネルギー効率を改善、社員への環境教育実施(6月環境月間)、植樹祭(植林)に毎年会社として参加

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	・太陽光発電増設 ・エアコン更新	13
その他		